

# ユベール・スターン 指揮 モーツァルトの旅

名匠スターンと味わう、至福のモーツァルト音楽

管弦楽 兵庫芸術文化センター管弦楽団



© 飯島隆

ヴィオラ  
大野 若菜  
ブラームス国際コンクール優勝

チャイコフスキー国際コンクール第3位  
ヴァイオリン  
有希 マヌエラ・ヤンケ

ローマサンタ・チエチーリア国立管首席  
クラリネット  
アレックス・サンドロ・カルボナーレ

2018  
第8回 4/6 (金)

2018  
第9回 10/27 (土)

英雄劇「エジプト王ターモス」のための幕間の音楽  
Thamos, König in Ägypten, K.345, Interludes

ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調  
Sinfonia Concertante in E flat major for violin and viola, K.364

交響曲 第39番 変ホ長調  
Symphony No.39 in E flat major, K.543

歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲  
La clemenza di Tito, K.621: Overture

クラリネット協奏曲 イ長調  
Clarinet Concerto in A major, K.622

セレナード第4番 二長調  
Serenade No.4 in D major, K.203

モーツァルト・シリーズを楽しむなら、お得な通し券で!

2回通し券 A5,000円 (全席指定/税込) 各日開演3:00PM(開場2:15PM)

※通し券は2回を同じお席でご鑑賞いただけます。※B席は1回券のみのお取り扱いとなります。※フレイグドでの通し券の取り扱いはございません。

一般発売:1/14(日) 芸術文化センター会員先行予約受付開始:1/11(木)

1回券は2月より発売! A3,000円、B1,000円(全席指定/税込)

兵庫県立芸術文化センター  
KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

ご予約  
お問合せ

- 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM(月曜休み※祝日の場合翌日)]
- インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- 窓口での販売は1/16(火)より、残席がある場合のみ

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

# ユベール・スダーン モーツァルトの旅

ザルツブルグ・モーツァルト管の音楽監督を10年以上務めたユベール・スダーンと贈る「モーツァルトの旅」シリーズ。「モーツァルトと共に人生を歩んできた」と語るマエストロが、誰もが知る名曲、そして隠れた名曲をみなさまにお贈りいたします。

第8回は、モーツァルトが17歳の時の作品、英雄劇「エジプト王ターモス」の幕間音楽からスタート。同年に書かれた「ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲」では、数々の国際コンクールで受賞、現在は巨匠バレンボイムの信頼を受け、ベルリン国立歌劇場管のコンサートマスターを務める有希マヌエラ・ヤンケと、高校在学中にブラームス国際コンクールを制覇、ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミーにて学んだ注目の若手ヴィオリスト・大野若菜が華麗な掛け合いを披露します。後半はモーツァルトの三大交響曲より、第39番をセレクト。明るく情感あふれる傑作をお楽しみください。

第9回は、「皇帝ティートの慈悲」序曲に続いて、ローマ・サンタ・チェチーリア管首席、アレッシンドロ・カルボナーレが登場。高いテクニックはもちろん、イタリア仕込みの歌心に長けたクラリネット界のヴィルトゥオーゾが描く協奏曲は必聴です。セレナード第4番は、ザルツブルク司祭にちなんだ祝日のために書かれた、8楽章からなる大作。祝祭感あふれる音楽で、至福のひとつときをお過ごしください。

指揮：ユベール・スダーン Hubert Soudant, Conductor



オランダ・マーストリヒト生まれ。ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、カラヤン国際指揮者コンクール第2位。ベルリン・フィル、ロンドン響、バンベルク響、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、シュトゥットガルト放響、フランクフルト放響等の主要オーケストラのほか、パリ・バスター・ユ・オペラ、パルマ、パレルモ、ボローニャなどの歌劇場でも指揮。

メルボルン響首席客演指揮者、ユトレヒト響音楽監督などを歴任。ザルツブルク・モーツァルト管首席指揮者を経て2004年9月から10年間、東京交響楽団の音楽監督を務め、現在は桂冠指揮者。2006年新国立劇場で指揮した「皇帝ティートの慈悲」が年間ベスト・オペラ公演に選ばれた。

ブラハの春音楽祭、ザルツブルク・モーツァルト週間、ウィーン芸術週間、ラヴェンナ音楽祭など多数の音楽祭に参加。

2004年7月、ザルツブルク市名誉市民およびザルツブルク州ゴールドデン勲章授与。

第8回



ヴァイオリン

有希マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke, Violin

2007年チャイコフスキー国際コンクール第3位、サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝。1986年ミュンヘン生まれ。3歳からヴァイオリンを始め、2004年バグニーニ国際ヴァイオリン・コンクール最高位(1位なし2位)受賞、国際的なキャリアをスタートさせた。

ベルリン放送響、ケルン放送管、N響、日本フィル、兵庫芸術文化センター管などヨーロッパ、日本各地のオーケストラにソリストとして共演。2012年から2年間ドレスデン・シュターツカペルのコンサートマスター、現在は巨匠バレンボイムの絶大な信頼を得てベルリン国立歌劇場管ゲストコンサートマスターを務める。

これまでにイゴール・オジム教授に師事。日本音楽財団から1736年製ストラディヴァリウス『ムンツ』を貸与。



ヴィオラ

大野若菜 Wakana Ono, Viola

1993年東京生まれ。2011年東京藝術大学附属音楽高等学校在学中に第18回ブラームス国際コンクール第1位。卒業と同時にベルリン国立ハンス・アイスラー音楽大学入学。2015年より2年間、ベルリン・フィル・カラヤンアカデミー在籍。ベルリン・フィル定期公演、ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、プロムス音楽祭等に参加。2016年5月ラトル指揮ベルリン・フィル来日公演に出演。「アンサンブル・ベルリン」でドイツ国内外の公演に参加。

ソリストとして、高関健指揮東京交響楽団室内合奏団、大井剛指揮新日本フィル・ハーモニーと協演。川崎和憲、ヴァルター・キュスナー、アミハイ・グロシュ、清水直子各氏に師事。

2017年東京オペラシティ「B→C」シリーズ出演、細川俊夫の「ヴィオラのための「息吹き）」改訂版世界初演。ベルリン在住。

## 兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ペンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。 <http://hpac-orc.jp>

第9回



クラリネット アレッシンドロ・カルボナーレ

Alessandro Carbonare, Clarinet

パリ、トゥーロン、ジュネーヴ、ブラハ、ミュンヘンなど輝かしい国際コンクール受賞歴を誇る。リヨン歌劇場管を経て、フランス国立管弦楽団首席を15年間務めた後、2003年よりローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団の首席奏者。スイス・ロマン管、スペイン国立管、オスロ・フィル、ミュンヘン放送管、ベルリン放送響などとソリスト共演。ムーティ、小澤征爾、デュトワ、マズア、スヴェトラノフ、ハイティンクなどと共演。アバド指揮ルツェルン音楽祭におけるモーツァルト協奏曲の収録は、2013年第49回レコードアカデミーアワード獲得。サンタ・チェチーリア国立アカデミア、キジアーナ音楽院サマーコース教授。

<http://www.carbonare.com>



<http://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中!

詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

## 便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

